



趣旨

国連の発表によれば、2030年までの目標達成には大きな遅れが生じ、169のターゲットのうち、評価可能なターゲットにおいて現時点で順調に進んでいるのはわずか17%にとどまり、2030年のSDGsの目標達成について「達成する見込みには遠く及ばない」と強い危機感を表明しています。

進捗が顕著に遅れているのは、目標2「飢餓をゼロに」、目標8「働きがいも経済成長も」、目標13「気候変動に具体的な対策を」とされており、これらの問題は、紛争、健康、教育、など様々な課題に関係しています。また、これらの影響を最も強く受けるのは、国内外の脆弱に人びとであり、それらの実態を理解した上で、SDGsの達成に向けた努力が必要となります。

現在、国際協力機構（JICA）の研修員として、ASEAN諸国とモンゴルから政府職員が来日し、大阪関西万博などの国際的催事やSDGsについて学んでいます。研修員は、これらの研修を通じて「いのち会議」の事業にも参加しており、この度、それぞれの出身国におけるSDGsの課題や取り組みについて紹介いただきます。

本アクションパネルでは、来日中の7名が研修員から自国の課題や解決に向けた取り組みについて生のお話をいただき、我々が協働して、今後の取り組みや目指すべき社会のあり方について考える機会となれば幸いです。今回（2日目）は、インドネシア、ラオス、モンゴル、マレーシアの研修員が登壇します。

（日英通訳も配置されますので、お気軽にご参加ください。）

プログラム

- いのち会議について 堂目 卓生（「いのち会議」実行委員長/大阪大学総長補佐/SSI長）
- 話題提供1：Ms.WIEBOWO Aslamatz Zahra Sekarini, Ministry of National Development Planning, Indonesia
- 話題提供2：Ms.SAIVONGVANH Lany, Ministry of Industry and Commerce, Laos
- 話題提供3：Ms.BAT OCHIR Dugermay, Governor's Office of Capital City, Mongol
- 話題提供4：Mr. Cheah Poh Fook, Ministry of Investment, Trade, and Industry, Malaysia
- 司会進行・モデレーター 田和 正裕 大阪大学SSI教授

お申込み

お申込みフォーム

<https://forms.gle/3YhfQz8tEnsbLvKf7>

（右のQRコードからもお申込みいただけます）

お問い合わせ（大阪大学SSI） ssi@ml.office.osaka-u.ac.jp

